

## 職員による自己評価

A環境面

児童の特性だけでなく日々の様子や近況の出来事等から状態を考えた上、活動場所等を決定している事が良いと思う。

管理のため事務所に活動グッズがあるが、行き来が大変と思う時がある。活動スペースに専用の鍵付き書庫が置けないか。

B児童への支援内容

タスク表の導入により利用児童が主体的に動いている。

固定化されていない活動プログラムに、繁忙期は大変と感ずることもある。

C関係機関との連携

ケース会議は参加が難しくとも資料提供し、近況報告も盛んに行った。

連絡会への参加は例年より少ない。

D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳、送迎引継ぎで当日の様子をしっかりと伝えられている。

E非常対応

車両故障やイレギュラー時の対応マニュアルが車内に入っているのがよかった。

## 保護者による評価

## A環境面

実際に見る機会が無いから不明。

バリアフリー化の配慮に関しては改良点がある。

## B児童への支援内容

コンディションに合わせて対応してくれている。

色々な事に挑戦させてくれている。

## C事業所からの情報発信

月1回のお便り(活動報告)、Instagram発信で様子がわかる。

引継ぎで詳細に様子をうかがえている。

## D非常対応

利用開始時のスタートブックで理解できるが、定期的に再確認を兼ねて発信してくれるとより分かりやすい。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

当日の様子を引継ぎ等で細かに説明したり、様子に合わせて必要な配慮をしているところは共通理解が頂けた。

## 【相違点】

イレギュラー対応に関してはスタッフ向けに発信していた対応マニュアルを、保護者様にも定期発信して安心いただけるよう努めていきたい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・日々の生活にアンテナを張り、児童一人ひとりの背景を考えて支援している事から相互理解を築けている事は強みであり継続していきたい。

事業所の改善点

- ・事業所の運営体制等を保護者様にもお伝えする機会が必要。
- ・活動プログラムの準備に纏わる負担軽減が必要。

事業所の改善への取り組み

- ・・お便りやInstagram等で会議内容を発信したり、マニュアルが策定された時は同時にお伝えする事をしていきたい。
- ・季節や週間の固定プログラムについて、具体的な狙いやどのように児童へ還元されるのかまたニーズがあるのかを議論していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・事業所内の改善点や新しく遂行する物事を保護者様に報告していくことで安心感に繋がることを学びました。新しく導入したタスク表は評価を頂けているので継続し、より過ごしやすい物へ改良を重ねていきたいと思った。